

氏名 : 小嶋大亮

職位 : 院長

学位 : 獣医師 (D.V.M.), 北里大学, 2008年.

博士 (獣医学) (PhD), 北里大学, 2012年.

日本獣医病理学専門医(Diplomate JCVP), 2014年.

JAHA認定医(総合臨床医), 2017年.

日本獣医皮膚科学会認定医(Certified JSVD), 2018年

職歴

北里大学獣医畜産学研究科博士課程 (2008～2012年)

米国ルイジアナ州立大学獣医学部Pathobiologicalsciences, Post-doctoral fellow (2012～2013年)

小島動物病院アニマルウェルネスセンター、勤務獣医師 (2013年～2017年)

麻布大学附属動物病院神経科、専科研修獣医師 (2015年～2017年)

小島動物病院アニマルウェルネスセンター、院長 (2017年～現在)

麻布大学附属動物病院神経科、共同研究員 (2018年～現在)

その他職歴および賞

国立感染症研究所研究生. 2008-2010年.

日本学術振興会特別研究員 (DC2 及び PD). 2011年～2013年.

第11回日本獣医内科学アカデミー学術大会(JCVIM2015)症例検討アワード受賞. 2015年.

一般社団法人日本獣医皮膚科学会 第8回世界獣医皮膚科会議フェローシップ. 2016年

一般社団法人日本獣医皮膚科学会 オーガナイザー. 2019年～現在

所属学会

日本獣医学会

新潟県獣医師会

新潟小動物臨床研究会

日本獣医病理学専門家協会

日本獣医病理学会

日本獣医臨床病理学会

日本獣医皮膚科学会

獣医神経病学会

日本獣医内視鏡外科研究会

日本獣医麻酔外科学会

学術業績

学術論文

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦 ビタミンAが著効を示した脂漏症の老齢アメ

リカン・コッカー・スパニエルの1例 日本獣医師会雑誌 70:235-239. 2017.

小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦、**小嶋大亮** 腹水貯留を示したウサギの悪性ミューラー管混合腫瘍の1例 日本獣医師会雑誌 70:170-174. 2017.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦 猫の下顎皮膚に形成された棘融解性扁平上皮癌の1例 獣医臨床皮膚科 21:149-153. 2015.

Kimitsuki K, Boonsriroj H, **Kojima D**, and Park CH. A Case Report of Feline Pituitary Carcinoma with Hypercortisolism J Vet Med Sci. 76:133-138. 2014.

村田涼子、富岡美千子、渡辺大作、Hassadin Boonsriroj、**小嶋大亮**、畑井仁、朴天鎬 若齢ザーネン種山羊の遅延型地方病性運動失調症に関する病理学的研究 日本獣医師会雑誌 66:390-397. 2013.

Hatai H, Iba M, **Kojima D**, Park CH, Tsuchida Y, Oyamada T. Spindle Cell Ameloblastic Carcinoma in a Labrador Retriever Dog. J Vet Med Sci. 2013. 75:639-641.

Kojima D, Hatai H, Oyamada T, Park CH. Extraskelatal myxoid chondrosarcoma with systemic metastasis in a five-month-old Irish setter dog. J Vet Med Sci. 2012 74:1045-1049.

Park CH, **Kojima D**, Hatai H, Inoue S, Oyamada T. A case report of traumatic neuroma of the cervical spinal cord in a dog. J Vet Med Sci. 2012. 74: 787-790.

Yamada K, Park CH, Noguchi K, **Kojima D**, Kubo T, Komiya N, Matsumoto T, Mitui MT, Ahmed K, Morimoto K, Inoue S, Nishizono A. Serial passage of a street rabies virus in mouse neuroblastoma cells resulted in attenuation: potential role of the additional N-glycosylation of a viral glycoprotein in the reduced pathogenicity of street rabies virus. Virus Res. 2012 165:34-45

Sugiura N, Uda A, Inoue S, **Kojima D**, Hamamoto N, Kaku Y, Okutani A, Noguchi A, Park CH, Yamada A. Gene expression analysis of host innate immune responses in the central nervous system following lethal CVS-11 infection in mice. Jpn J Infect Dis. 2011. 64:463-72.

Kojima D, Park CH, Tsujikawa S, Kohara K, Hatai H, Oyamada T, Noguchi A and Inoue S. Lesions of the central nervous system induced by intracerebral inoculation of BALB/c mice with rabies virus (CVS-11). J Vet Med Sci. 2012. 72:1011-1016.

Park CH, Nakanishi A, Hatai H, **Kojima D**, Oyamada T, Sato H, Kudo N, Shindo J, Fujita O, Hotta A, Inoue S and Tanabayashi K. Pathological and microbiological studies of Japanese Hare (*Lepus brachyurus angustidens*) naturally infected with *Francisella tularensis* subsp. *holarctica*. J Vet Med Sci. 2009. 71:1629-1635.

土田靖彦、朴天鎬、安家義之、磯村洋、**小嶋大亮**、植木秀彰、池田学、小山田敏文 犬の術後縫合糸肉芽腫に関する病理学的研究 日本獣医師会雑誌 2009. 5:388-394.

Kojima D, Park CH, Satoh Y, Inoue S, Noguchi A, Yamada A and Oyamada T. Pathology of the

spinal cord of C57BL/6J mice infected with rabies virus (CVS-11). J Vet Med Sci. 2009. 71:319-324.

Park CH, **Kojima D**, Tsuzuki N, Ishii Y and Oyamada T. Malignant glomus tumour in german shepherd dog. Vet Dermatol. 2008. 20:127-130.

Book Chapter

Inoue S, Boldbaater B, Sugiura N, **Kojima D**, Noguchi A and Park C. H. 2010. Rabies. pp. 143-153. In: Animal Viruses. (Maeda A ed.), Transworld Research Network, India.

研究発表

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 多発性漿膜封入嚢胞及び静脈性血管腫により構成された傍前立腺嚢胞の犬の1例. 2019年. 第6回日本獣医病理学専門家協会学術集会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 好酸球性肉芽腫症候群と脂腺炎が同時発生した猫の1例. 2019年. 第22回日本獣医皮膚科学会学術大会・総会

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. Thyroid transcription factor 1抗体を用いた病理検査が臨床的に有用であった猫の肺腺癌の1例. 2018年. 日本小動物獣医学会（中部地区）

十川剛、齋藤弥代子、島倉秀勝、小嶋大亮、阪口雅弘. 犬のてんかんの遺伝子探索. 2016年. 第91回麻布獣医学会

平嶋洵也、齋藤弥代子、青木卓磨、十川剛、小嶋大亮. 血栓症を生じる基礎疾患を持ち、神経徴候を示した犬の1例. 2016年. 第91回麻布獣医学会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. Vitamin A反応性皮膚症に罹患にしたアメリカン・コッカー・スパニエルの1例における診療成績と皮膚病変の解析. 2016年. 第19回日本獣医皮膚科学会学術大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 形質細胞腫による結腸重積の犬の1例. 2016年. 第12回日本獣医内科学アカデミー学術大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、齋藤弥代子、小嶋佳彦. 手根関節に発生した大型孤在性滑膜性骨軟骨腫症の1例. 2015年. 第36回動物臨床医学会記念年次大会.

小嶋大亮、朴天鎬、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. チワワ犬の舌に形成された黄色腫の1例. 2015年. 第158回日本獣医学会学術集会.

小嶋恭子、小嶋大亮、太田和美、小嶋佳彦. ウサギの腹水2例を用いたセルパック法の検討. 2015年. 日本小動物獣医学会（中部地区）

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 腹壁外ヘルニア内に髄外造血巣を認めた犬の1例. 2015年. 日本小動物獣医学会 (中部地区)

小嶋恭子、小嶋大亮、太田和美、小嶋佳彦. 猫の鼻咽頭型リンパ腫の1例. 2015年. 日本小動物獣医学会 (中部地区)

太田和美、小嶋大亮、小嶋恭子、小嶋佳彦. 犬の盲腸原発消化管間質腫瘍の1例. 2015年. 日本小動物獣医学会 (中部地区)

小嶋佳彦、小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美. 猫の悪性末梢神経鞘腫瘍の1例. 2015年. 日本小動物獣医学会 (中部地区)

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 猫の胃腺癌の1例. 2015年. 日本獣医臨床病理学会2015年学術大会

小嶋恭子、小嶋大亮、太田和美、小嶋佳彦. ウサギの子宮に形成された悪性ミューラー管混合腫瘍の1例. 2015年. エキゾチックペット研究会症例発表会2015.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. ミニチュア・シュナウザーの頭部に形成された多発性類皮嚢腫の1例. 2015年. 第18回日本獣医皮膚科学会学術大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 猫の下顎皮膚に形成された棘融解性扁平上皮癌の1例. 2015年. 第11回日本獣医内科学アカデミー学術大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 猫の腸腺癌の2例. 2014年. 第35回動物臨床医学会記念年次大会.

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 胸水セルブロックにより診断された猫のリンパ腫の1例. 2014年. 第16回日本獣医臨床獣医学フォーラム年次大会2014

小嶋大亮、小嶋恭子、太田和美、小嶋佳彦. 胸水セルブロックにより診断された猫の肺腺癌の1例. 2014年. 日本獣医臨床病理学会2014年学術大会

Kojima D and Wakamatsu N. Glossal squamous cell carcinoma in situ with canine oral papillomavirus infection in a dog. 2013. ACVP & ASVCP annual meeting, Montreal.

Sakaguchi K, **Kojima D**, Shell KN, Delpiero F, McConnico R and Wakamatsu N. Atypical myeloencephalopathy with ceroid lipofuscinosis in a Tennessee walker horse. 2013. ACVP & ASVCP annual meeting, Montreal.

小嶋大亮、Natalie Fowlkes. Malignant pericardial mesothelioma in a Cheetah (*Acinonyx jubatus*).

2013年. 第155回日本獣医学会学術集会

Kojima D, Kurotaki T, Mamone C and Wakamatsu N. Invasive thymic carcinoma in a bearded collie dog. 2012. ACVP annual meeting, Seattle.

朴天鎬、山田健太郎、小宮尚之、久保達也、**小嶋大亮**、井上智、西園晃. 病原性の異なる狂犬病ウイルス（強毒株1088-N0と弱毒株1088-N30）を筋肉内接種したddYマウスの中樞神経系に関する比較病理学的研究. 2012年. 第154回日本獣医学会学術集会

杉下摩由璃、山田健太郎、小宮尚之、久保達也、**小嶋大亮**、Boonsriroj Hassadin、井上智、西園晃、朴天鎬. 病原性の異なる狂犬病ウイルス（強毒株1088-N0と弱毒株1088-N30）を筋肉内接種したddYマウスの末梢神経系（脳を除く頭部）に関する比較病理学的研究. 2012年. 第154回日本獣医学会学術集会

Hatai H, Iba M, **Kojima D**, Park CH, Tsuchida Y and Oyamada T. Ameloblastic carcinoma characterized by spindle cells in a Labrador retriever. 2011. WSAVA –FASAVA World Congress ICC, Jeju, Korea.

Kojima D, Mochida M, Maruo I, Hatai H, Oyamada T and Park CH. A case report of traumatic neuroma of the cervical spinal cord in a dog. 2011. WSAVA –FASAVA World Congress ICC, Jeju, Korea.

Park CH, **Kojima D**, Hatai H and Oyamada T. Extraskelletal myxoid chondrosarcoma with systemic metastasis in a five month old irish dog. 2011. WSAVA –FASAVA World Congress ICC, Jeju, Korea.

朴天鎬、河合泰広、塩ノ谷佳苗、**小嶋大亮**、佐々木瑞希、畑井仁、小山田敏文、筏井宏美. Encephalitozoon cuniculi (I型)を経鼻接種したBALB/cおよびヌードマウスの病理変化. 2011年. 第152回日本獣医学術集会.

元風呂晃、朴天鎬、大塚浩通、**小嶋大亮**、畑井仁、藤掛斉、平泉美栄子、松本敦、小山田敏文. 起立不能を呈した子牛のB細胞性リンパ腫の一例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

射場満、朴天鎬、渡辺大作、柿崎竹彦、**小嶋大亮**、畑井仁、小山田敏文. 脊髄空洞を伴う脊髄重複症の子牛の1例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

遠藤加楼羅、朴天鎬、菊池元宏、金井一享、**小嶋大亮**、畑井仁、小山田敏文. 外傷性の視神経傷害による盲目が疑われた黒毛和種の子牛2例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

河合泰大、朴天鎬、高野友美、宝達勉、**小嶋大亮**、畑井仁、小山田敏文. 胃腸全域に多発性結節性病変を形成した猫伝染性腹膜炎ウイルス感染症の1例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

石田誠、朴天鎬、**小嶋大亮**、畑井仁、小山田敏文. イヌの直腸ポリープおよび直腸癌にみられる異所性骨組織に関する病理学的研究. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

小嶋大亮、朴天鎬、石田誠、小原慶子、井上謙一、畑井仁、小山田敏文、野口章、井上智. 狂犬病ウイルス固定株 (CVS-11) を脳内接種したMacaque属サルの脳に関する病理学的研究. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

丸尾育兵、朴天鎬、持田望美、佐野忠士、**小嶋大亮**、畑井仁、小山田敏文. 犬の第6頸髄および第7頸髄神経に形成された外傷性神経腫の1例. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

杉浦尚子、宇田晶彦、**小嶋大亮**、野口章、奥谷晶子、加来義浩、朴天鎬、山田章雄、井上智. 狂犬病ウイルス(CVS-11)の末梢感染により麻痺症状を示したC57BL/6Jマウスの中樞神経組織における宿主遺伝子のマイクロアレイ解析. 2010年 第150回日本獣医学術集会.

加納有紗、朴天鎬、**小嶋大亮**、大森有希子、小原慶子、塩ノ谷佳苗、濱田誠太郎、松山佳奈子、高野友美、畑井仁、宝達勉、小山田敏文. 猫伝染性腹膜炎ウイルスに感染後水頭症を起こした猫2症例に関する病理学的研究. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

小嶋大亮、朴天鎬、小原慶子、杉浦尚子、Boldbaatar Bazartseren、佐藤豪、野口章、畑井仁、小山田敏文、井上智. 狂犬病ウイルス (CVS-11) を後肢筋肉内に接種したC57BL/6Jおよびヌードマウスの脊髄に関する比較病理学的研究. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

塩ノ谷佳苗、朴天鎬、筏井宏実、**小嶋大亮**、大森有希子、加納有紗、小原慶子、濱田誠太郎、松山佳奈子、畑井仁、小山田敏文. 腸ループ接種および経口投与したEncephalitozoon cuniculi (E.cuniculi) の感染様式と病理組織像. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

松山佳奈子、朴天鎬、土田靖彦、**小嶋大亮**、安家義幸、大森有希子、加納有紗、小原慶子、塩ノ谷佳苗、濱田誠太郎、畑井仁、小山田敏文. 避妊・去勢ラットを用いた術後縫合糸肉芽腫に関する実験病理学的研究. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

濱田誠太郎、朴天鎬、**小嶋大亮**、大森有希子、加納有紗、小原慶子、塩ノ谷佳苗、松山佳奈子、畑井仁、小山田敏文. 野生げっ歯類における病理組織学的所見. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

大森有希子、朴天鎬、**小嶋大亮**、加藤稚菜、加納有紗、小原慶子、塩ノ谷佳苗、濱田誠太郎、松山佳奈子、畑井仁、小山田敏文. 犬の唾液腺粘液瘤 (salivary mucocele) 6症例に関する形態病理学的研究. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

杉浦尚子、Demetria Catalino、Boldbaatar Bazartseren、Manalo Daria、**小嶋大亮**、朴天鎬、野口章、加来義浩、奥谷晶子、佐藤豪、山田章雄、Quiambao Beatriz、井上智. 迅速免疫組織

化学とプラスミド免疫抗体を利用した狂犬病ウイルス簡易検査系の確立. 2009年. 第148回日本獣医学術集会.

Inoue S, **Kojima D**, Boldbaatar B, Sugiura N, Noguchi A, and Park CH. Histopathogenesis of paralytic rabies in mice following inoculation of the CVS-11 strain into the triceps surae muscle. 2009. The 43rd joint working conference on viral diseases of US-Japan cooperative medical science program. Philadelphia.

小嶋大亮、朴天鎬、辻川真太郎、小原慶子、井上智、野口章、小山田敏文. 狂犬病ウイルス (CVS-11) を脳内接種したBALB/cマウスの脳脊髄に関する病理学的研究. 2009年. 第147回日本獣医学術集会.

小嶋大亮、濱田誠太郎、朴天鎬、渡辺大作、安藤貴朗、小山田敏文. ホルスタイン牛に発生した解離性大動脈瘤の1例. 2009年. 平成20年度日本獣医師会学会年次大会.

朴天鎬、小原慶子、小嶋大亮、菊池元宏、小山田敏文. 黒毛和種に発生した悪性卵黄嚢腫瘍の1例. 2009年. 平成20年度日本獣医師会学会年次大会.

小嶋大亮、朴天鎬、井上智、野口章、山田章雄、小山田敏文. 狂犬病ウイルス (CVS-11) に感染したC57BL/6Jマウスの脊髄に関する病理学的研究. 2008年. 第146回日本獣医学術集会.